

令和 7 年度
シラバス

青翔開智高等学校

第 1 学年

もくじ

現代の国語	2
言語文化	3
地理総合	4
歴史総合	5
数学I	6
数学A	7
物理基礎	8
生物基礎	9
体育(男女合同)	10
体育(男女別)	11
保健(男女合同)	12
音楽I	13
美術I	14
英語コミュニケーションI	15
論理・表現I	16
情報I	17
STEAM	18
共生と飛躍	19
探究IV	20

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	国語	現代の国語	2	必修	ホームルーム

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト、レポートなど	ペーパーテスト・論述・レポート・発表など	課題への取り組み・学習内容の振り返りなど
教科書・教材	『現代の国語』（筑摩書房）、「現代の国語」準拠課題ノート（筑摩書房）、「高校生のための語彙＋漢字2000」（筑摩書房）		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス	1	
	単元①「サイエンスの視点、アートの視点」	5	ペーパーテスト①・成果物
	【知識・技能 ②情報】イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する		
	【話すこと・聞くこと】ア 目的に応じて実社会の中から適切な話題を決め、情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する		
	単元②「ことばがつくる女と男」	6	ペーパーテスト②・論述
	【知識・技能 (1)言葉・②情報】ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する ア 主張と論拠の関係を理解する		
	【書くこと】ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考える		
	探究スキルラーニング①「ビブリオバトル」(図書館利用)	7	発表
	【知識・技能 (1)言葉】オ 話の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する		
	【話すこと・聞くこと】イ・ウ 自分の考えが的確に伝わるよう、相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫し、話し言葉の特徴を踏まえ、相手の理解が得られるように表現を工夫する		
2学期	単元③「ことばとは何か」	7	ペーパーテスト③
	【知識・技能 (1)言葉】エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増す		
	【読むこと】ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する		
	単元④「会話と対話」	4	ペーパーテスト④・成果物
	【知識・技能 (1)言葉】イ 話し言葉の役割、特色を踏まえ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現について理解し、使う		
	【話すこと・聞くこと】オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、結論の出し方を工夫する		
	単元⑤「来るべき民主主義」【知識・技能 ②情報】オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使う	7	レポート
	【書くこと】イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、引用する情報の分量などを考えて、文章の構成を工夫する		
	探究スキルラーニング②「兎が自分でつづって語る生活の話」「推論」	7	論述
	【知識・技能 ②情報】ウ 推論の仕方を理解し使う エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う		
3学期	【書くこと】ア 目的や意図に応じて、適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする		
	【読むこと】イ 文章や図表の情報を相互に関係づけながら、文章の構成や展開などについて評価し、自分の考えを深める		
	単元⑥「餐沢の条件」	5	ペーパーテスト⑤
	【知識・技能 (1)言葉】カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する		
	【書くこと】ウ 自分に考えや事柄が伝わるよう、対比を用いて表現の仕方を工夫する		
	単元⑦「〈私〉時代のデモクラシー」	7	ペーパーテスト⑥
	【知識・技能 (1)言葉】エ 実社会において理解・表現するために語句の量を増し、語句や語彙の構造や特徴、用法などを理解する		
	【読むこと】イ 内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価し、自分の考えを深める		
	探究スキルラーニング③「新書レポート」(図書館利用)	9	レポート
	【知識・技能 (3)言語文化】ア 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める		
3学期	【書くこと】エ 目的や意図に応じて文章全体を整え直し、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直す		
	【読むこと】ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する		
	単元⑧「記憶する体」	5	ペーパーテスト⑦・成果物
	【知識・技能 ②情報】イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する		
	【話すこと・聞くこと】エ 論理の展開を予想しながら聞き、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	国語	言語文化	2	必修	習熟度別

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとすると共に、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・論述・レポート・探究スキルラーニングで評価する成果物等	探究スキルラーニングで評価する成果物等・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	「言語文化」(筑摩書房)・「言語文化 課題ノート」(筑摩書房)・「読解を大切に体系古典文法 九訂版」(数研出版)・「読解を大切に体系古典文法ワーク」(数研出版)、「みるみる覚える古文単語300+30」(いっすな書店)・「体系漢文」(数研出版)・「体系漢文法演習」(数研出版)		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス	1		
	古文への扉【読む】			
	・児のそら寝「宇治拾遺物語」	6	ペーパーテスト①	
	文語文法の品詞(特に用言)について理解し、内容や構成・展開などについて叙述をもとに的確に捉える。			
	古文: 人間の普遍的な姿 物語に表れた心情を読み取る【読む】			
	・芥川「伊勢物語」 物語を通して文章の意味は文脈の中で形成されていることを理解する。	6	ペーパーテスト②	
	探究スキルラーニング「歌物語」を作ろう」(図書館利用学習)	6	レポート	
	百人一首の中から好きな和歌の一つを選び、当時の文化に着目して自分なりの歌物語を作成する			
	古文・漢文: 演習	4		
	現代文: 韻文の表現【書く】・短歌 (図書館利用学習)	3	作品の制作	
	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう表現を工夫し、短歌を創作する。			
2学期	・羅生門 原典と小説を読み比べて表現の違いについて考える 心情を表す言葉を場面・文脈のなかで捉える	8	レポート	
	探究スキルラーニング「羅生門」に用いられている小説特有の表現を読む」(図書館利用学習)			
	漢文への扉 漢文を学ぶために【読む】 ことばの構造を考える 漢語の特色 故事成語を読む【読む】	6	ペーパーテスト③	
	・守株・借虎威 ことばが創られる過程に触れ、普遍性の高い言語表現を身につける			
	演習	5		
	古文: 自分という世界【読む】	8	ペーパーテスト④	
	・土佐日記・更級日記			
	演習	3		
3学期	漢文: 韻文の表現 唐詩を翻案する【書く】	7	ペーパーテスト⑦	
	・登鸛鵲楼・涼州詞・香炉峰下 唐詩を通して我が国の文化と外国の文化との比較について理解する			
	翻案を通じて自分の思いを伝えよう 自分の知識や体験の中から適切な題材を集め、表現したいことを的確にする			
	現代文: 韻文の表現 詩歌を表現する【書く】	7	グループ活動・レポート・成果物	
	・掲載詩の中から1作品選択し筆者の背景と作品との関係についてまとめる			
	・作品理解をシーワードに落とし込みテキストマイングで表現する			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	地理・歴史	地理総合	2	必修	ホームルーム

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地理に関わる諸事象に関して、地図や地理情報システムなどを用い、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想する力を養い、それらを元に説明したり議論したりする力を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、課題を主体的に追究・解決しようとする態度とともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度を身につける。
評価の方法	テスト・成果物など	テスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	二宮書店「わたしたちの地理総合」、二宮書店「詳解現代地図 最新版」、帝国書院「新詳地理資料COMPLETE 2025」、二宮書店「わたしたちの地理総合ワークブック」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	1-1 球面上の世界 / 1-4 日常生活のさまざまな地図	6	単元テスト①／成果物／学習の記録
	特別授業①「浦富海岸フィールドワーク」(2-1 自然環境と生活文化)	6	成果物／学習の記録
	1-4 日常生活のさまざまな地図	2	成果物／学習の記録
	特別授業②「鳥取砂丘ビジターセンター出前授業」(2-1 自然環境と生活文化)	2	成果物／学習の記録
	2-1 自然環境と生活文化	10	単元テスト②／成果物／学習の記録
2学期	2-2 産業の発展と生活文化	8	単元テスト③／成果物／学習の記録
	特別授業③「防災ゲーム体験ワークショップ」(4-1 自然環境と防災)	2	成果物／学習の記録
	2-3 言語・宗教と生活文化	6	単元テスト④／成果物／学習の記録
	特別授業④「建設技術実証フィールド見学」(3-1 人口・食料問題 / 4-2 持続可能な地域づくり)	2	成果物／学習の記録
	探究スキルラーニング「地域共同体をデザインしよう」(1-3 国内や国家間の結びつき / 2-4 グローバル化の進展と生活文化)	10	成果物／学習の記録
	特別授業⑤「資産運用キャンパス」(2-2 産業の発展と生活文化 / 2-4 グローバル化の進展と生活文化)	2	成果物／学習の記録
3学期	3-1 人口・食料問題 / 3-2 居住・都市問題 / 3-3 資源・エネルギー問題	5	単元テスト⑤／成果物／学習の記録
	特別授業⑥「地方紙の地域面を読もう」(4-2 持続可能な地域づくり)	2	成果物／学習の記録
	3-4 地球環境問題 / 4-1 自然環境と防災	4	単元テスト⑥／成果物／学習の記録
	特別授業⑦「鳥取市歴史博物館やまびこ館出前授業」(4-1 自然環境と防災)	1	成果物／学習の記録
	4-2 持続可能な地域づくり	2	成果物／学習の記録

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	地理・歴史	歴史総合	2	必修	ホームルーム

科目の目標 ①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
評価の観点 知識・技能 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 思考・判断・表現 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 主体的に学習に取り組む態度 近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。			
評価の方法 テスト・課題に関する成果物など	テスト・論文・レポート・発表・グループ活動・課題に関する成果物など	テスト前の取り組み（確認テスト）・クラスルームへの投稿・学習内容の振り返りなど	
教科書・教材 帝国書院「明解歴史総合、帝国書院「明解歴史総合ノート」、 「明解歴史総合図説シンフォニア四訂版」			

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	探究スキルラーニング「新聞、資料の比較・活用」	4	成果物など	
	1歴史の扉	2		
	2近代化と私たち			
	2-1 江戸時代の日本と結びつく世界	5	テスト／成果物／学習の振り返り	
	2-2 欧米諸国における近代化	5		
	2-3 近代化の進展と国民国家形成	5	テスト／成果物／学習の振り返り	
	2-4アジア諸国の動揺と日本の開国	4	テスト／成果物／学習の振り返り	
	「近代から現代までの歴史を探究する」テーマ設定	2		
2学期	「近代から現代までの歴史を探究する」中間報告①	1	活動の報告／振り返り	
	2-5 近代化が進む日本と東アジア	4	テスト／成果物／学習の振り返り	
	探究スキルラーニング「明治維新は革命か」	6	成果物など	
	3国際秩序の変化や大衆化と私たち			
	3-1第一次世界大戦と日本の対応	4		
	3-2国際協調と大衆社会の広がり	4	テスト／成果物／学習の振り返り	
	3-3 日本の行方と第二次世界大戦	5		
	3-4 再出発する世界と日本	3	成果物／学習の振り返り	
	4グローバル化と私たち			
	4-1 冷戦で揺れる世界と日本	3	成果物／学習の振り返り	
3学期	「近代から現代までの歴史を探究する」中間報告②	1	活動の報告／振り返り	
	災害史に学ぶ	1		
	4-2 多極化する世界	4		
	4-3 グローバル化の中の世界と日本	3	成果物／学習の振り返り	
	課題発表「近代から現代までの歴史を探究する」	4	成果物	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	数学	数学Ⅰ	3	必修	習熟度別

科目の目標	(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・探究スキルラーニング成果物	授業態度・自己の振り返り・出席率
教科書・教材	数研出版「数学Ⅰ」、数研出版「新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅰ＋A」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス&春休み課題テスト	1		
	第1章 数と式 第1節 式の計算、第2節 実数、第3節 1次不等式	14	ペーパーテスト①	
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ、第2章 2次方程式と2次不等式	24	ペーパーテスト②	
2学期	第4章 図形と計量 第1節 三角比、第2章 三角形への応用	21	ペーパーテスト③	
	第5章 データの分析	12	ペーパーテスト④	
	演習	12	探究スキル成果物	
3学期	演習	21	ペーパーテスト⑤	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	数学	数学A	2	必修	習熟度別

科目の目標	(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・探究スキルラーニング成果物	授業態度・自己の振り返り・出席率
教科書・教材	数研出版「数学A」、数研出版「数学Ⅰ」、数研出版「新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅰ＋A」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	数学Ⅰ 第2章 集合と命題	6	
		1	ペーパーテスト①
	第1章 場合の数と確率	18	
	場合の数	1	ペーパーテスト②
2学期			
	確率	1	ペーパーテスト③
	第2章 図形の性質	20	
	探究スキルラーニング	9	
			ペーパーテスト④
3学期	演習	13	
	数学A まとめテスト	1	ペーパーテスト⑤

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	理科	物理基礎	2	必修	ホームルーム

科目の目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観測・実験を行い、基本操作を習得している。 ・それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	・自然の事物・現象の中に問題を見いだしている。 ・探究する過程を通して、事象を物理的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究している。 ・科学的態度を身に付けている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・実験レポートなど	行動観察・自己評価/相互評価等における記載 など
教科書・教材	啓林館「高等学校物理基礎」、啓林館「KEIRINKANDXシリーズ物理基礎セット」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第1節 速度 【レポート】電車の運行表から、v-tグラフを作成しよう。 第2節 加速度 第3節 落体の運動 【実験】自由落下における加速度の測定	16	【知】単元テスト1 【思】【主】実験レポート1
	第2章 力と運動 第1節 力 【実験】フックの法則に基づいたばね定数の測定 【実験】静止摩擦係数の測定 第2節 運動の法則 【実験】運動の法則 第3節 様々な力と運動 【レポート】浮沈子はなぜ面白い？ 【実験】アルキメデスの原理	10	【知】単元テスト2 【思】【主】実験レポート2
2学期	第3章 仕事とエネルギー 第1節 仕事 第2節 運動エネルギー 【実験】運動エネルギーと仕事 第3節 位置エネルギー 【実験】位置エネルギーと仕事 第4節 力学的エネルギーの保存 【実験】力学的エネルギー保存の法則	10	【知】【思】実験レポート3 【主】自己調整における記述
	第2部 熱 第1章 熱とエネルギー 第1節 熱と温度 TSL『熱量保存の法則から金属の同定を行う』 第2節 熱量 第3節 熱と仕事の変換 【実験】ビー玉スターリングエンジンの制作	8	【知】単元テスト3
	第3部 波 第1章 波の性質 第1節 波の伝わり方 【実験】振動数と波長の関係性 第2節 波の性質	8	【知】単元テスト4 【思】実験レポート4 【主】自己調整における記述
	第2章 音 第1節 音波の性質 第2節 音源の振動 【実験】開管における気柱の共鳴(ストロー笛)	8	
3学期	第4部 静電気と電流 第1章 静電気 第1節 静電気 第2節 電流 第2章 交流と電磁波 第1節 電磁誘導と発電機 第2節 交流と電磁波	4	
	第5部 物理と私たちの生活 第1章 エネルギーとその利用 第1節 様々なエネルギーとその利用	4	【知】単元テスト5
	第2章 物理学が拓く世界	2	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	理科	生物基礎	2	必修	ホームルーム

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	・生物や生物現象から問題を見いだしている。 ・見通しをもって観察、実験などを行なっている。 ・得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・生物や生物現象に主体的に関わりを持とうとしている。 ・見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	啓林館「高等学校 生物基礎」、浜島書店「新コンセプトノート生物基礎」、数研出版「改訂版 フォトサイエンス生物図録」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	第1章 生物の特徴 ガイダンス	1	
	第1節 生物の共通性と多様性	3	授業への取り組み レポート
	第2節 生物とエネルギー	6	ペーパーテスト①
	探究スキルラーニング「顕微鏡の使い方/マイクロメーターによる測定」	6	観察・実験の実技 成果物
	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA	7	ペーパーテスト②
2学期	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成	6	ペーパーテスト③
	第3章 神経系と内分泌系による調節 第1節 情報の伝達	6	授業での取り組み レポート
	第2節 体内環境の維持のしくみ	6	ペーパーテスト④
	第4章 免疫	4	授業での取り組み
	探究スキルラーニング「生体防御」	7	成果物 自己評価/他者評価
3学期	第5章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 探究スキルラーニング「メタバースバイオーム展」	10	成果物
	第6章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性	4	ペーパーテスト⑤
	第2節 生態系のバランスと保全	4	ペーパーテスト⑥

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	体育・保健	体育(男女合同)	1	必修	学年

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	大修館書店「アクティブスポーツ」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	【球技1】ネット型「バレーボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、サーブ、アタック、攻撃と守備の原則の理解)	9	・実技テスト ・授業態度
		4	
2学期	【球技2/体育理論】ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	5	・実技テスト ・授業態度
	【球技3】ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て)	9	単元テスト③ ・授業態度
		1	
3学期	【球技4】ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	7	・実技テスト ・授業態度

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	体育・保健	体育(男女別)	1	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	大修館書店「最新中学保健体育」、大修館書店「中学保健体育ノート」、あかつき教育図書株式会社「図解中学体育」		

年間学習計画					
学期	学習内容		時数	主な評価方法	
	男子	女子		男子	女子
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	5	・新体力テスト結果等	・新体力テスト結果等
	【球技1/体育理論】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム （パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解	【球技1/体育理論】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム （パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解	8	・単元テスト① ・実技テスト ・授業態度	・単元テスト① ・実技テスト ・授業態度
			2		
2学期	【球技2】ゴール型「サッカー」 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。	【球技2】ゴール型「サッカー」 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。	10	・単元テスト② ・実技テスト ・授業態度	・単元テスト② ・実技テスト ・授業態度
			3		
3学期	【選択】 ○「ダンス」 ・現代的なリズムのダンス ○「器械運動」 ・マット、跳び箱	【選択】 ○「ダンス」 ・現代的なリズムのダンス ○「器械運動」 ・マット、跳び箱	7	・発表会 ・授業態度	・発表会 ・授業態度

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	体育・保健	保健(男女合同)	1	必修	ホームルーム
科目の目標		保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	現代社会と健康，安全な社会生活，生涯を通じる健康，健康を支える環境づくりとその活用について，個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに，それらの内容に関わる技能を身につける。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考したり，様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに，それらを他者に表現することができる。	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち，現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって，生徒が現在および将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにするを目指す。		
評価の方法	ペーパーテスト・レポート	ペーパーテスト・レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等		
教科書・教材	大修館書店「現代高等保健体育」、大修館書店「現代高等保健体育ノート」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション 健康の考え方と成り立ち、私たちの健康のすがた	2	・ノート	
	生活習慣病の予防と回復	3	・単元テスト① ・レポート	
	がんの原因と予防 がんの治療と回復	3	・ノート	
	運動と健康 食事と健康	3	・単元テスト② ・レポート	
	休養・睡眠と健康 喫煙と健康	2	・ノート	
2学期		1		
	飲酒と健康 薬物乱用と健康	3	・ノート ・レポート	
	精神疾患の特徴 精神疾患の予防	4	・単元テスト③ ・ノート ・レポート	
	精神疾患からの回復	4	・ノート	
	現代の感染症	3	・単元テスト④ ・ノート	
3学期	性感染症・エイズとその予防	4	・単元テスト⑤	
	健康に関する意思決定・行動選択	3	・ノート	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	芸術	音楽Ⅰ	2	選択	選択

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性を理解するとともに、創意工夫を生かしたい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、生涯のわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(歌唱・アルトリコーダー演奏・リズム制作・楽曲分析など)・ワークシート/楽典ワーク等の記述など	実技テスト・ワークシート等の記述など	ワークシート/楽典ワーク等の記述・ペア/グループワーク・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価／相互評価等の活用・発表など
教科書・教材	教育芸術社「MOUSA1」、ドレミ楽譜出版社「高校生のための新・楽典ワーク」、アルトリコーダー		

年間学習計画				
学期	学習内容		時数	主な評価方法
1学期	「音楽ってなんだろう」		2	ワークシートの記述
	音楽のはじまり～バロック初期の音楽		4	ワークシートの記述
	バロックの音楽		2	ワークシートの記述
	歌唱「この道」		4	歌唱の実技・実技テスト
	楽典		4	楽典ワークの記述
	古典の音楽 モーツァルト「アマデウス」		3	ワークシートの記述
	古典の音楽 ベートーヴェン「交響曲第9番」		3	ワークシートの記述
	ペーパーテスト①		1	ペーパーテスト
	リズムや拍子などを変化させて変奏「創作1」		3	創作の実技
2学期	アルトリコーダー・ソロ		4	演奏の実技・実技テスト
	リコーダー・アンサンブル		4	演奏の実技・ベア/グループワーク・実技テスト
	ロマン派の音楽		4	ワークシートの記述
	後期ロマン派の音楽		4	ワークシートの記述
	オペラの世界		3	ワークシートの記述
	楽典		4	楽典ワークの記述
	ペーパーテスト②		1	ペーパーテスト
	自由課題①		6	演奏の実技・ベア/グループワーク・自己評価・発表
3学期	国民楽派の音楽～現代の音楽		4	ワークシートの記述
	ミュージカルの世界		3	ワークシートの記述
	ペーパーテスト③		1	ペーパーテスト
	自由課題②		6	演奏の実技・ベア/グループワーク・自己評価・発表

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	芸術	美術 I	2	選択	選択

科目の目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し、構想を練ったり、価値観意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。		
評価の観点	知識・技能 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	思考・判断・表現 造形的にはよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値観意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 主体的に作品や美術文化の鑑賞を含む幅広い美術の創造活動に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・提出作品・ワークシート	ペーパーテスト・グループ制作・ギャラリートーク	スケッチブックへの記述・描画 授業中の発言・教師による行動観察
教科書・教材	日本文教出版「高校美術」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	抽象表現	4	作品提出・取組み観察・ワークシート
	読書感想画	8	作品提出・取組み観察・ワークシート
	西洋美術史	2	レポート
	風景画	6	作品提出・取組み観察・ワークシート
	粘土	4	作品提出・取組み観察・ワークシート
2学期	夏休みの様子	2	作品提出・取組み観察・ワークシート
	動くもの	6	作品提出・取組み観察・ワークシート
	鑑賞	2	レポート
	文化祭	4	作品提出・取組み観察・ワークシート
	イメージ画	8	作品提出・取組み観察・ワークシート
	粘土	2	作品提出・取組み観察・ワークシート
	イメージの展開	6	作品提出・取組み観察・ワークシート
3学期	冬休みの様子	2	作品提出 取組み観察
	自画像	6	作品提出
	将来の夢	8	作品提出

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	必修	習熟度別

科目の目標	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと(やりとり・発表)」、「書くこと」の言語活動及び統合的な言語活動を通して英語と共感することで日常的・社会的な話題について英語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。 また、実社会で直面する話題を取り上げ、それらを多角的な視点で読解することで、自他を尊重し、豊かな文化観と国際協調の基礎を養うことを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細を伝えることができる。また、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮しながらコミュニケーションを図ろうとし、自らの学習を調整し、主体的に学びに向かおうとしている。
評価の方法	単元テスト	単元テスト 探究スキルラーニングにおける成果物	各活動におけるリフレクション 自己調整プリント
教科書・教材	ケンブリッジ大学出版局「CAMBRIDGE EXPERIENCE 1」、ケンブリッジ大学出版局「CAMBRIDGE EXPERIENCE 1 workbook」		

年間学習計画				
学期	学習内容		時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション		1	
	UNIT 1 BEHAVIOUR		6	単元テスト①
	UNIT 2 WAYS OF LEARNING		6	
	探究スキルラーニング「ジブリの静止画を説明しよう」		6	探究スキルラーニングの成果物
	UNIT 3 TECHNOLOGY		7	単元テスト②
2学期	UNIT 5 WORK		6	単元テスト③
	UNIT 7 HAPPINESS		6	
	探究スキルラーニング「データの読み取り」		4	探究スキルラーニングの成果物
	UNIT 9 TRAVEL		5	単元テスト④
	UNIT 10 FREE TIME		5	
	探究スキルラーニング「アート鑑賞1」		4	探究スキルラーニングの成果物
3学期	UNIT 8 HOME		7	単元テスト⑤
	探究スキルラーニング「対話型鑑賞」		7	探究スキルラーニングの成果物

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	外国語	論理・表現 I	2	必修	習熟度別

科目の目標	英語の成り立ちや文化の理解を深め共感し、コミュニケーションを図るとする態度を養うとともに、日常的・社会的な話題について論理の構成や展開を工夫することで、基本的な文や表現を用いて「話すこと(やりとり・発表)」、「書くこと」ができるようになる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 これらの知識を話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に着けている。	情報を整理しながら場面や状況を理解し、適切な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを伝えあっている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮しながらコミュニケーションを図ろうとし、自らの学習を調整し、主体的に学びに向かおうとしている。
評価の方法	単元テスト	単元テスト 探究スキルラーニングにおける成果物	各活動におけるリフレクション 自己調整プリント
教科書・教材	桐原書店「FACTBOOK English Logic and Expression I」、Gakken「高校英文法をもう一度ひとつひとつわかりやすく。」、文英堂「高校基礎 英文法パターンドリル」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション	1	
	時制・助動詞を活用して、自らの考えについて表現できるようになる。	12	単元テスト①
	探究スキルラーニング「ジブリの静止画を説明しよう」	5	探究スキルラーニングの成果物
	仮定法を活用して、自らの考えについて表現できるようになる。	8	単元テスト②
2学期	分詞・接続詞を活用して幅広い表現ができるようになろう。	10	単元テスト②
	探究スキルラーニング「データの読み取り」	15	単元テスト③
		5	探究スキルラーニングの成果物
3学期	不定詞と接続詞を活用して、幅の広い表現ができるようになろう。	10	単元テスト④
	探究スキルラーニング「対話型鑑賞」	4	探究スキルラーニングの成果物

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	情報	情報Ⅰ	1	必修	ホームルーム

科目の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身につけている。	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得している。情報社会と人との関わりについて理解を深めている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報及び情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・レポート	ペーパーテスト・レポート・グループ活動	授業中の発言や取り組み・生徒による自己評価/相互評価
教科書・教材	数研出版「高等学校情報Ⅰ」 数研出版「高等学校情報Ⅰ サポートノート」		

年間学習計画				
学期	学習内容		時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス・情報メディアの特性		1	
	コミュニケーションと情報デザイン 数値の表現		1	
	情報のデジタル化		3	
	単元テスト		1	単元テスト①
	情報社会の問題解決 情報社会のモラル		1	
	情報の法・制度		2	
	コミュニケーションと情報デザイン 情報デザイン実践		2	
				提出物(スライド・動画)
2学期	コンピュータとプログラミング コンピュータの仕組み		1	
	アルゴリズム		1	
	単元テスト		1	単元テスト②
	基本的な計算		1	
	プログラミング		4	
				提出物(プログラム)
	モデル化とシミュレーション		4	
				提出物(スプレッドシート)
3学期	情報通信ネットワークとデータの活用 通信ネットワークの意味		1	
	インターネットの仕組み		1	
	セキュリティ手法		3	
	データベース・情報システム			
	単元テスト		1	単元テスト③
	データの分析		5	
				提出物(レポート)
	共通テスト演習		1	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	次世代	STEAM	1	必修	学年

科目の目標	予測不可能な時代（VUCA時代）において、直面する課題を創造的に解決するために必要な思考力やテクノロジー活用の素養を身に付けることを目的とし、次の3点を目標に設定する。 1:課題解決のための過程を、システム思考の型を自ら設定することができるようになる。 2:センサーを用いてデータに応じてデバイスを動かしたり、プログラミングを活用してシステムを連携したりすることができるようになる。 3:複数の方法から適切な表現の手段を選択して、自身の考えを表現できるようになる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	プログラミングを使ってデバイスの制御をすることができるか。 ソフトウェアやアプリケーションの使用方法を理解し、成果物作成のために活用することができたか。	思考ツールを使って課題解決の過程を設定することができたか。 多様な表現ツールを使って共感を得る成果物を作成できたか。	成果物作成にあたり創意工夫を行い、積極的に活動に取り組むことができたか。
評価の方法	プログラミングコード等の成果物 作品等の成果物	各種ワークで作成されたワークシート 各種ワークで作成された作品	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	適宜資料等を配布する		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	○ガイダンス(授業の目的・目標の共有, 年間授業計画の説明等)	1	作品の制作
	○システム思考:「システム思考とは」【外部講師招聘予定】	2	作品の制作
	・思考ツール活用ワーク(氷山モデルワーク, V字モデルワーク)		
	＊適切な課題解決の過程を設定できるようになるために, システム思考に関わる思考法を活用できるようになるワーク		作品の制作
	○生成AIワーク	2	
	○情報の収集:「アンケート作成の基本」【外部講師招聘予定】	4	作品の制作
	・アンケート作成・データ収集・分析ワーク(Googleフォーム, Googleスプレッドシート等)		
	＊必要な情報収集のために適切なアンケート項目を設定し, 収集したデータを適切に処理・分析できるようになるワーク		
2学期	○情報の収集:「IoTの今」	4	作品の制作
	・センサーを活用したデータ収集ワーク(micro:bit使用)		
	＊デバイスにセンサーを取り付け, 外界の情報をデータとして収集できるようになるワーク		
	○コーディング:「システム・サービス連携について」【外部講師招聘予定】	7	作品の制作
	・プログラミングを活用したシステム・サービス連携(Google Apps Script使用)		
	API連携/AI		
2学期	○3Dモデリング:「メタバースについて」【外部講師招聘予定】	8	作品の制作
	・3D空間を作成し仮想空間で活用するワーク		
3学期	○表現:デジタル表現について	7	作品の制作
	・ピクトグラム制作		
	・ポートフォリオ作成		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	次世代	共成と飛躍	1	必修	学年

科目の目標 以下の軸を通じて、自己の捉え方と他者の関わり方を基礎とした社会性に関するスキルや態度、価値観を身につけさせるとともに、本校の「育てたい資質と評価項目」のうち、「コンピテンシー」に該当する箇所を2年生以降に自らの体験に即して言語化できるようにする。 ○自分の感情や思考、自分の行動の影響について正しく認識する能力を養う。（自己への気付き） ○他者の立場に立つとともに、さまざまな他者の背景を理解し、共感する能力を養う。（他者への気付き） ○さまざまな状況で異なる自分の感情や思考や行動を調整する能力を養う。（自己のコントロール） ○異なった個性や集団と、健全で満足できる人間関係をきずいて維持する能力を養う。（対人関係） ○個人の行動や社会的なかわりについて、他者を尊重した建設的な選択ができる能力を養う。（責任ある意思決定）	
評価の方法 数値による評価は実施しない。 授業で使用したワークシートや振り返りにおける生徒の記述、授業中のようなすなどから個々の道徳性の成長を見取る。 評価は年度末に記述で通知する。	
教科書・教材 適宜資料等を配布する	

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	オリエンテーション	1	
	自己の感情について分析し、自分の行動について認識する。	3	
	ロールプレイや他者との対話を通して異なる考えに共感する。	6	
	自己の価値観をまとめた成果物を作成し、自己についての認識を深める。	3	
2学期	対話を通じて社会の集団の一人としての行動について考える。	5	
	対話を通じて異なる考えの合意形成について学ぶ。	5	
	対話を通じて自己理解を深める。	5	
3学期	他者との対話を通じて様々な考えに触れることで自己理解を深める。	4	
	これまでの取り組みを振り返ることで自己理解を深める。	3	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校1年	総合的な探究の時間	探究Ⅳ	2	必修	学年

科目の目標 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成する。 (1)人口減少によって引き起こされる問題や生活とテクノロジーの関わりについての理解を深め、人口減少問題をテクノロジーで解決する意義や価値を理解する。 (2)人口減少が引き起こす身近な課題を設定し、課題解決のための具体的で先進的な方法を設定し、試作・表現することができるようになる。 (3)チーム内で役割を分担しながら探究活動を進めたり、自ら外部のリソースを活用したりするなど、他者と協働しながらよりよい成果物を作れるようになる。				
評価の観点 知識・技能 人口減少によって引き起こされる問題や生活とテクノロジーの関わりについての理解を深め、人口減少問題をテクノロジーで解決する意義や価値を理解できたか。 思考・判断・表現 人口減少が引き起こす身近な課題を設定し、課題解決のための具体的で先進的な方法を設定し、試作・表現することができるようになったか。 主体的に学習に取り組む態度 チーム内で役割を分担しながら探究活動を進めたり、自ら外部のリソースを活用したりするなど、他者と協働しながらよりよい成果物を作ることができたか。				
評価の方法 探究活動の成果物(アイデアの試作品や発表会の内容)と成果物作成までの過程(チームでの取り組み状況等)から総合的に評価する。				
教科書・教材 玉川大学出版部「学びの技」/玉川大学出版部「改訂版 学びの技」				

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	図書館活用オリエンテーション	2	
	探究ガイダンス	2	
	思考ツール(マトリクス)	2	
	アイデアキャンプ	2	
	人口減少問題について理解する	2	
	共感:情報検索・インタビュー調査・アンケート調査	2	
	人口減少によって生じる問題を考えよう	2	
	問題提起:課題の設定と課題解決のアプローチ検討	2	
	テクノロジーとはなんだろう	2	
	先端テクノロジーについて知る・活用方法を考える	2	
	アイデア創出:解決アイデアの設定	2	
	中間発表準備	2	
	中間発表①	2	
2学期	データを使って説明しよう	2	
	課題の再定義、構造化	4	
	課題解決アプローチの修正	2	
	プロトタイプ:プロトタイプ的设计(ビジネスモデルキャンバス活用)	2	
	プロトタイプ:プロトタイプの作成	6	
	SSH東京AI研修	2	
	中間発表準備	2	
	中間発表②	2	
	プロトタイプの修正	6	
	中間発表会③(校内)	2	
3学期	発表資料作成	4	
	発表準備・練習	4	
	青開学会(探究活動成果発表会)	2	
	青開学会振り返り	2	
	1年間の振り返り	2	